

指定管理者定期モニタリングの実施結果の公表について

◎令和5年度定期モニタリングの実施結果

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
1	市民活動センター	B	B	B	A	各部屋の稼働率は8割を超える部屋もある一方で、料理室は目標値を大幅に下回っており、また、各部屋の夜間利用についても増加に至らず課題となった。新型コロナウイルス感染症の拡大を経て、オンライン会議が定着した団体が増え、会議室の利用方法に変化がでていることから、利用者ニーズに応えられるよう工夫してもらいたい。令和5年12月にフリースペースをワクチン接種会場として利用することを終了したことから、利用者が戻り、団体同士の交流も見込める状態になっているため、引き続き団体間の交流を促進する事業の積極的な企画を期待する。施設管理については、定期点検や修繕のほか市民意見に基づく備品の購入等によって利便性の向上に努めたほか、光熱水費については、館内巡回による細かい温度調整によって大幅な節減に繋がった点が評価できる。市民協働に関する事業は、市民活動に関する講座など企画によっては参加者が少ないものも見受けられたが、来館者アンケートによるとイベント参加者における満足度は高いため、新たな参加者の開拓に向けて努力し、その後の施設利用に繋げることを期待する。	市民協働推進部 協働共創推進課
2	府中駅南口市営駐車場	B	B	B	A	令和5年度は、電気料、資材価格の高騰が続く厳しい状況のなか、経費削減を行いながら、施設の安全性及び利便性向上に努めるなど、総合的に見て適正な管理運営を行っていた。駐車料金収入についても前年度を超え、過去最高額を記録している。今後も引き続き、適正な管理運営を行いながら、施設の安全性の確保及び利便性向上に努め、より多くの利用者の獲得を目指してほしい。	生活環境部 地域安全対策課
3	府中駅南自転車駐車場	B	B	B	A	適切に施設の管理・運営を行っている。利用者数についても前年度に引き続き増加しており、利用者の満足度も高く、安定した経営が行われている。また、意見箱の設置、利用者アンケートの実施により、利用者の満足度向上を図っている。次年度についても、利用者数の増加及び満足度の向上に向け、適切な管理・運営を行ってもらいたい。	生活環境部 地域安全対策課
4	市民会館	B	B	A	A	PFI事業者が指定管理者でもあることから、事業者間の連携による効率的な施設の運営・管理を期待している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制が撤廃され、施設の稼働率はコロナ禍以前の水準に回復しつつある。新規利用者については、事前に実施内容を確認し、相談を行うなど、適切な施設利用の促進、運営に取り組んでいる。引き続き、自主事業の実施や、PFI事業者間の連携による複合施設の特徴を活かした事業企画などを通じて、市民による施設利用の促進に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
5	府中の森芸術劇場	A	B	B	A	新型コロナウイルス感染症に対する各種制限が解除されたことや、各種コンクールや市民団体等によるコンサート利用が増加したことなどにより、令和5年度の3ホール平均稼働率は80.9%となり、過去最高の稼働率となった。これは、稼働率及び利用者の増加に向けた取組として、SNS等で土日のホールの空き状況や自主事業に関する発信を行った成果である。また、令和5年度の自主事業については、計画していたものをおおむね予定どおり実施することができた。改修工事に伴う休館後に利用者が戻ってきていただけるよう、引き続き情報発信に努めるとともに、再開後は、これまで以上に利用者の安全と施設の健全な管理・運営に努めていただきたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
6	府中の森芸術劇場分館	B	B	A	A	新型コロナウイルス感染症に対する各種制限が解除されたことと、SNSや府中の森芸術劇場本館が発行する広報紙を利用した広報活動を行ったことにより、稼働率はコロナ禍以前と同程度に戻った。施設・設備については、適正な管理を行っており、利用者アンケートでは財団職員及び臨時職員の接遇も高く評価されている。府中文化振興財団として、利用者の安全確保対策、緊急時の対応のための責任体制・連絡網の整備、災害時及び防火・防犯のための対応体制の整備を行っているほか、定期的に職員の研修・訓練も行っている。今後も、安心できる施設の管理・運営に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
7	生涯学習センター	B	B	B	A	令和5年度のセンター利用者数は、316,982人（前年度比+7,695人）と新型コロナウイルス流行以前の8割近くの利用者数となった。要因として、コロナウイルスの流行が収束してきたことはもちろんだが、指定管理者の新たな講座の企画や従来の市報を利用した広報のみならず、市内全域への新聞折り込みによるチラシ配布を実施するなど、地道な集客促進活動に依るものとする。今後も更なる利用者増加に向けて、市民のニーズを的確に把握し、より魅力的な事業の展開やSNS等を活用した幅広い広報活動にも期待したい。また、利用者の安全確保については、定期的な心肺蘇生訓練や救命講習の受講を実施するなど、緊急時の対応に備えている点も評価できる。一方で、施設維持管理については、施設の老朽化が進んでいるものの、指定管理者の迅速、適切な修繕により、利用者の安全安心が確保できた中で運営することができている。今後も、市と連携を図り、不具合等については、引き続き、迅速な対応をお願いしたい。引き続き、民間事業者のノウハウやネットワークを活かしながら、市民の生涯学習活動の拠点としての役割を果たすための取組を期待する。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
8	郷土の森博物館	B	A	B	A	改修工事のため、半年にわたる本館（プラネタリウムを含む）の休館や、施設全体の臨時休館もあったが、園内の諸施設を活用した展示会、ミニプラネタリウムの導入、商業施設における体験事業の出張開催など、創意工夫を凝らして博物館事業の継続に努めていた。また、職員が一丸となって準備を重ねて実現に至った「曼珠沙華まつり」は好評を博し、前年同月と比し、入場者数は飛躍的に伸びていた。また、施設管理全般については、適正に実施されていた。利用者に満足いただくためには、魅力的な事業の提供もさることながら、安全・安心かつ快適な施設機能の提供も重要である。開館後35年が経過し、園内の施設・設備の老朽化が進行していることから、引き続き、施設の点検業務等を行い、適正な施設管理に努めていただきたい。	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
9	市立ふれあい会館	B	B	B	A	老朽化による施設改修工事により、駐輪場・駐車場の利用に制限が生じたが、柔軟な対応をし、利用者にとって使いやすい施設となるように管理運営に努めてもらいたい。	福祉保健部 地域福祉推進課
10	市立介護予防推進センター	B	B	B	A	施設の管理運営について、協定書に基づき適切に行われており、元気で明るい接遇により施設全体に活気ある雰囲気を与えている。令和3年度からスマホ教室、みんチャレ講座を開催し、高齢者のデジタルデバイス解消のための事業展開を行い、好評である。総務省のデジタル支援員の資格を職員の大多数が取得し、講座を実施している。また、11月の介護予防強化月間には、「長いいきいき★フェスタ」を開催した。FC東京、東芝ブレイブルーパス東京、明治安田生命など協働事業としてフェスタを開催し、広く介護予防の普及啓発を行うことにつなげるなど、市の介護予防の拠点施設として十分に機能している。令和5年度は、短期集中予防サービス事業の通所事業所として積極的に事業実施をし、虚弱な高齢者が元気を取り戻す仕組み作りの一助となった。本市においても介護ニーズが高い後期高齢者の人口が大幅に増加する見込みであり、元気を取り戻す高齢者を増やすためにも介護予防推進センターの役割はますます大きくなることが予測される。今後も魅力ある教室や講座の開催等により、これまで介護予防に取り組んだことがない市民に利用されるよう、効果的かつ充実した介護予防の事業展開の提案を期待する。	福祉保健部 高齢者支援課

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
11	市立特別養護老人ホーム よつや苑	A	B	B	A	市立としての施設の運営に当たり、特別養護老人ホームが果たす社会資源としてのベッドを、確実に、計画的に稼働できるよう準備を整え、空床が生じた際には待機者が速やかに入所できるよう努め、稼働率の向上に取り組んでいる。また、介護サービスの提供に当たっては、サービスの質の向上を目指し、入所者の食事について、施設内調理の強みを生かし、入所者の声を反映した献立を定期的実施するなど、入所者の楽しみを増やし、入所者が主体的に生き生きと過ごすことができるよう工夫を重ねている。さらに、全職員が救命講習を受講するなど、利用者の安全確保のための教育にも力を入れている。今後とも、地域の拠点施設としての役割を果たし、市民の方々が安心してサービスを利用できるよう、更なるサービスの向上を期待する。	福祉保健部 介護保険課
12	市立特別養護老人ホーム あさひ苑	A	B	B	A	府中市・三鷹市・調布市の三市で運営する特別養護老人ホームとして、積極的に困難ケースを受け入れながら、施設運営に当たっている。また、感染症対策を継続し、利用者の安全を確保しながら、適切な運営をすることで稼働率を増加させることができた。このほか、ICT機器の導入及び積極的な活用により、夜間も入所者の状態を把握し、質の高いサービスの提供に繋げており、さらに、家族に対しても、面会方法の工夫や年間のイベントの工夫などにより、確かな信頼を得ている。今後も、様々なケースの受入れのほか、地域に開かれた施設として、市民の方々が安心してサービスを利用できるよう、さらなるサービスの向上を期待する。	
13	市立よつや苑高齢者 在宅サービスセンター	B	B	B	A	公の施設であることを意識し、稼働率向上のため、利用者には足湯を実施するなど、サービスの質を向上させ、リピーターを増やす工夫を積極的に行っており、利用者から高い評価を得ている。また、このほかにも、苑として「歩くで元気」をキーワードにして、個々の利用者の身体状況に応じた機能回復訓練を実施する中で、歩行訓練中に職員が積極的に声掛けをして、利用者に会話を楽しんでもらうなど、利用者の身体機能の維持・向上に加え、心にも働きかける工夫をしており、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう取り組んでいる。今後も引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。	
14	市立あさひ苑高齢者 在宅サービスセンター	A	B	B	A	介護サービスの提供に当たっては、ご家族の不安を解消し、ご家族との交流を図るための工夫として、デイサービス送迎時に、ご家族に、利用者の苑内での様子を報告するなどの取組を行っており、福祉サービス第三者評価においても、職員の笑顔が多く、親切で優しく、丁寧に接してくれるため、楽しく過ごす事が出来ているとの高評価を得ている。今後も公の施設であることを意識し、引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として、地域の方々との接点も大切にしながら安定した運営を期待する。	
15	市立心身障害者福祉センター	B	B	B	A	施設の老朽化が進むなかで、保守管理及び修繕等の施設管理を行っているほか、利用者の安全管理を行いながら、省エネに向けた取組が確認できた。また、利用者の安全を確保するための各種マニュアルの整備及び定期的な見直しを図るほか、利用者のための様々な事業を検討している動きが見られた。令和6年度には市のクーリングシェルターにも指定されており、今後も、関係機関や市民への情報提供及び啓発活動などを活発に行い、地域に開かれた施設となるよう、引き続き努力していただきたい。	福祉保健部 障害者福祉課
16	府中市立公園（68か所）	B	B	B	A	維持管理は適切に実施され、苦情等への対応や修繕についても迅速に行っている。府中公園に管理事務所を設置し、自主事業の開催や地域連携による花壇管理を実施するなど、市民サービスの向上に努めている。今後は、維持管理の水準を維持しながら、自主事業の回数と種類の増加、及び地域連携の更なる推進に努めてもらいたい	都市整備部 公園緑地課

※定期モニタリング総合評価について

(1) 各項目（I～III）配点基準 「A」…5点、「B」…4点、「C」…3点、「D」…1点

(2) 総合評価は各項目評価の合計点数で決定します。「S」…14点以上、「A」…12点以上14点未満、「B」…9点以上12点未満、「C」…6点以上9点未満、「D」…5点以下